

2022年12月期第3四半期 決算説明会資料

2022/11/8



目次

I	2022年12月期第3四半期決算概要	P 3-13
II	T-2024 進捗ご報告	P14-17
	参考資料	P18-21

I

2022年12月期第3四半期

決算概要

- 国際通貨基金（IMF）は、10月11日に世界の経済成長率予測を発表、2022年の成長率を3.2%と前回見通し（7月）から据え置き、ウクライナ情勢に伴うエネルギー危機や各国中銀の金融引き締め、中国の景気減速を背景に2023年の見通しを2.7%と▲0.2%下方修正。インフレ沈静化に向けて、金融政策と財政政策の適切な措置が求められると指摘
- 世界的に原材料・エネルギーコストが高騰する中、当第3四半期業績は、前年同期比で、売上高33.1%（当第2四半期前年同期比33.8%）、営業利益58.6%（同比52.7%）、経常利益83.1%（同比82.7%）及び四半期純利益68.6%（同比62.1%）と引き続き堅調に推移し、大幅な増収増益
- 通期業績予想に対して、当第3四半期における進捗率は、売上高80.8%、営業利益80.0%、経常利益94.5%及び当期純利益80.6%といずれも標準進捗率75.0%を超過して進捗
- 原油価格の上昇、急激な円安に起因する原材料価格、燃料費及び輸送コスト等の高騰に対しては、全事業において製品価格への転嫁にて対応中
- 黒鉛電極事業は、脱炭素に向けた電炉シフトのトレンドは不変なるも、ウクライナ危機に伴うマクロ経済の悪化から主要生産国である日本、欧州を中心として粗鋼生産量の減少傾向は継続、今後の鋼材需要の動向について引き続き要注視
- カーボンブラック事業は、米国環境基準を満たすための設備投資（排ガス洗浄装置など）とそれに伴う設備トラブルの影響を一部受けるも、日本、タイ及びカナダ拠点では世界的な自動車タイヤ生産が堅調に推移しフル稼働
- ファインカーボン事業は、半導体市場の不透明感が増す中、足元での需要は引き続き旺盛。韓国子会社の半導体製造装置向けの高付加価値部材が全体をけん引するほか、先進運転支援システム（ADAS）や電気自動車（EV）の急成長を受けて中核部品であるパワー半導体市場向けSiC半導体需要が拡大中
- スメルティング&ライニング事業は、ウクライナ危機による影響を一部で受けるも、グローバルでのアルミ生産やアルミ電解炉の改修意欲は堅調。また炭素電極は、半導体用ポリシリコンやアルミ合金用途向けを中心に引き続き需要が旺盛
- 工業炉及び関連製品事業は、中国子会社のロックダウンの影響を一部受けるも、EV、5G・IoT関連市場の成長拡大を背景として、引き続き需要は旺盛

- 黒鉛電極の市況反転とファインカーボンの成長拡大で前年同期比で増収増益
- 売上高 2,463億円 営業利益 280億円 ROS 11.4% (前年同期 ROS 9.5%)

(百万円)

	2021年1-9月	2022年1-9月	増減額	増減率
売上高	185,095	246,332	+61,237	+33.1%
営業利益	17,669	28,015	+10,345	+58.6%
経常利益	17,547	32,132	+14,585	+83.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,559	16,121	+6,562	+68.6%

連結対象会社 (2022年9月末現在)

- 連結子会社 31社
- 持分法適用会社 1社

1-9月平均為替レート

- 2021年 USD1= ¥108.50
EUR1= ¥129.83
- 2022年 USD1= ¥128.05
EUR1= ¥135.95

セグメント別売上高・営業利益・EBITDA

6

■ 主要4セグメントで大幅な増収、SLを除く3セグメントで大幅な増益とEBITDA大幅増

(百万円)

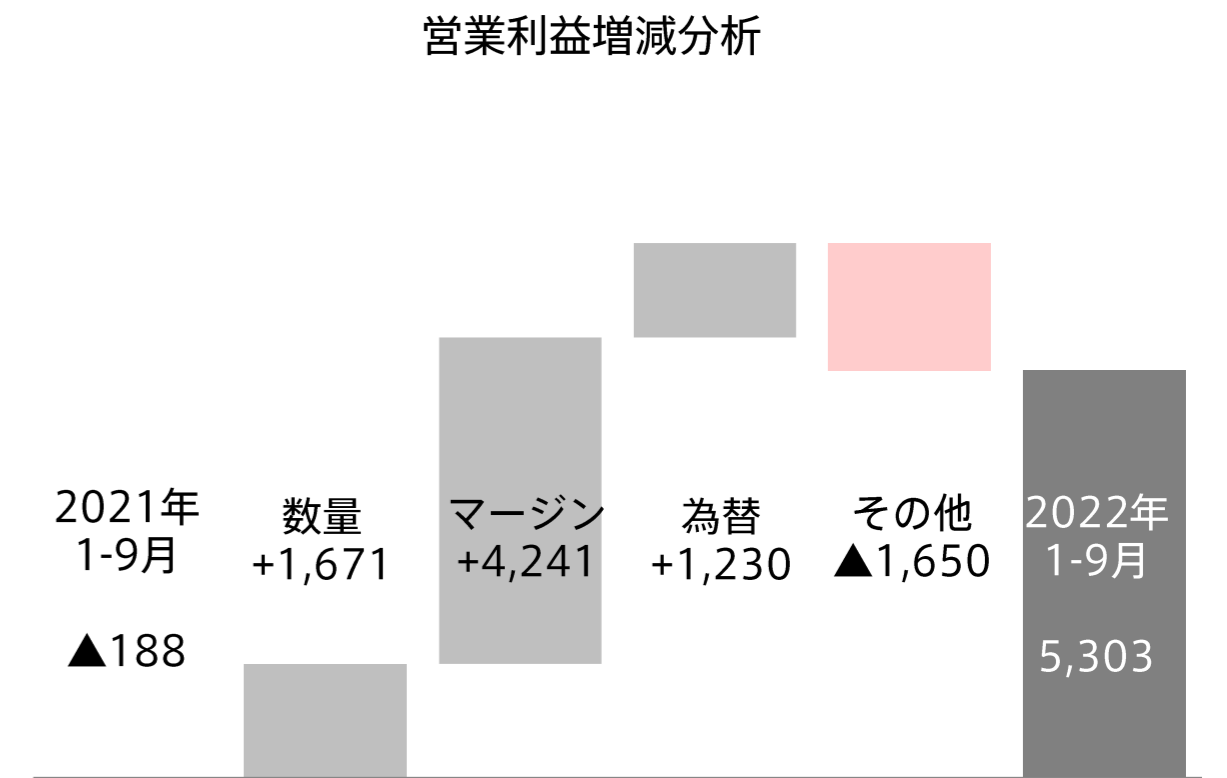
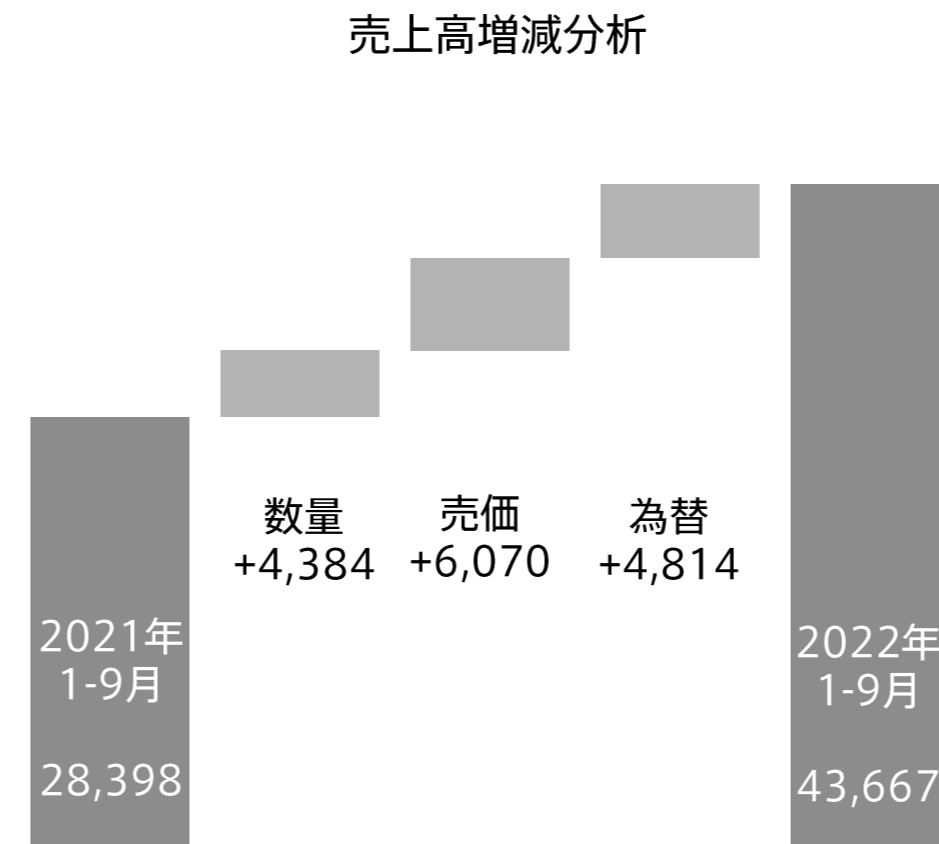
	売上高			営業利益			EBITDA		
	2021年1-9月	2022年1-9月	増減額	2021年1-9月	2022年1-9月	増減額	2021年1-9月	2022年1-9月	増減額
黒鉛電極	28,398	43,667	+15,268	▲188	5,303	+5,492	3,034	9,368	+6,334
カーボンブラック	72,262	103,350	+31,087	6,684	8,986	+2,301	11,184	14,223	+3,039
ファインカーボン	28,551	36,823	+8,272	7,016	11,099	+4,083	11,156	15,856	+4,700
スメルティング & ライニング(SL)	35,219	42,755	+7,535	1,220	▲305	▲1,525	10,289	9,601	▲688
工業炉関連	11,427	11,923	+496	3,360	3,308	▲51	3,550	3,549	▲1
その他	摩擦材	6,590	6,834	+244	—	—	—	—	—
	負極材	2,544	875	▲1,669	—	—	—	—	—
	その他	101	102	+1	—	—	—	—	—
計	9,236	7,812	▲1,423	603	699	+95	1,000	1,049	+49
調整	—	—	—	▲1,027	▲1,077	▲50	▲602	▲687	▲85
合計	185,095	246,332	+61,237	17,669	28,015	+10,345	39,613	52,961	+13,348
売上高比率	—	—	—	9.5%	11.4%	+1.9%	21.4%	21.5%	+0.1%

※EBITDA =営業利益+減価償却費+のれん償却費

- 電極市況は昨年の在庫調整から反転、当社各拠点とも受注・生産は正常化
- 米国拠点の大口径・高品質電極の引き合いが強く堅調な一方、欧州拠点は弱含み
- 売価は前年比約20%上昇

(百万円)

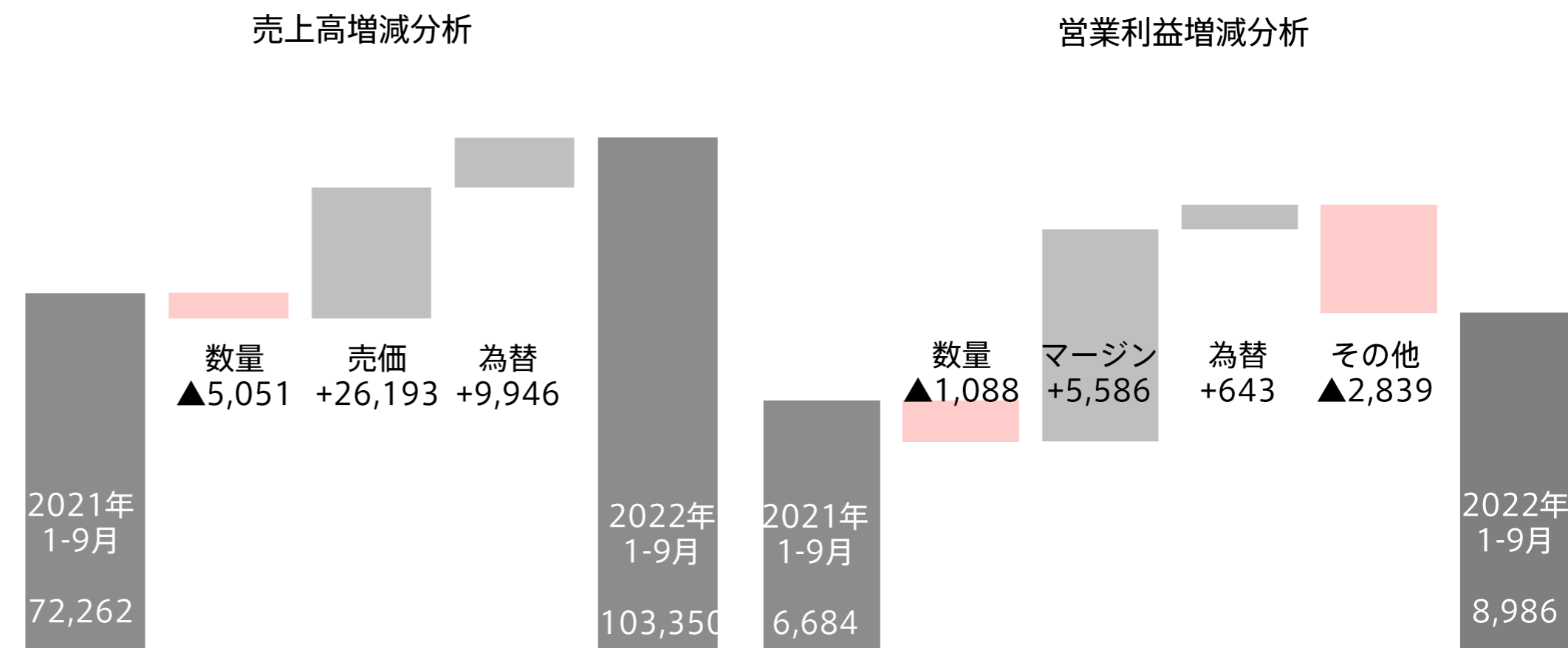
	2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減額	増減率
売上高	28,398	43,667	+15,268	+53.8%
営業利益	▲188	5,303	+5,492	—%
ROS	▲0.7%	12.1%		



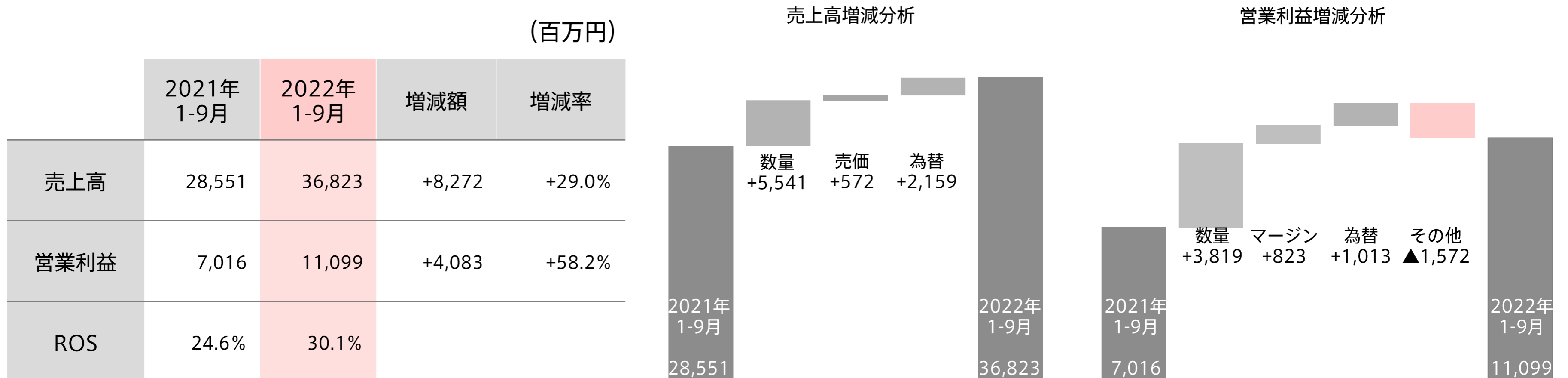
- 半導体不足などの影響により新車向け需要の回復は遅れているものの、トラック・バスを中心に補修用タイヤの需要は旺盛でCB需要も堅調に推移
- 中国拠点の東海炭素（天津）有限公司を売却したことにより全体の販売数量は前年同期比で減少するも、上昇傾向にある原料油コストの売価転嫁で増収
- 米国拠点の環境設備は年内に修復完了し、2023年よりフル稼働の見通し

(百万円)

	2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減額	増減率
売上高	72,262	103,350	+31,087	+43.0%
営業利益	6,684	8,986	+2,301	+34.4%
ROS	9.3%	8.7%		



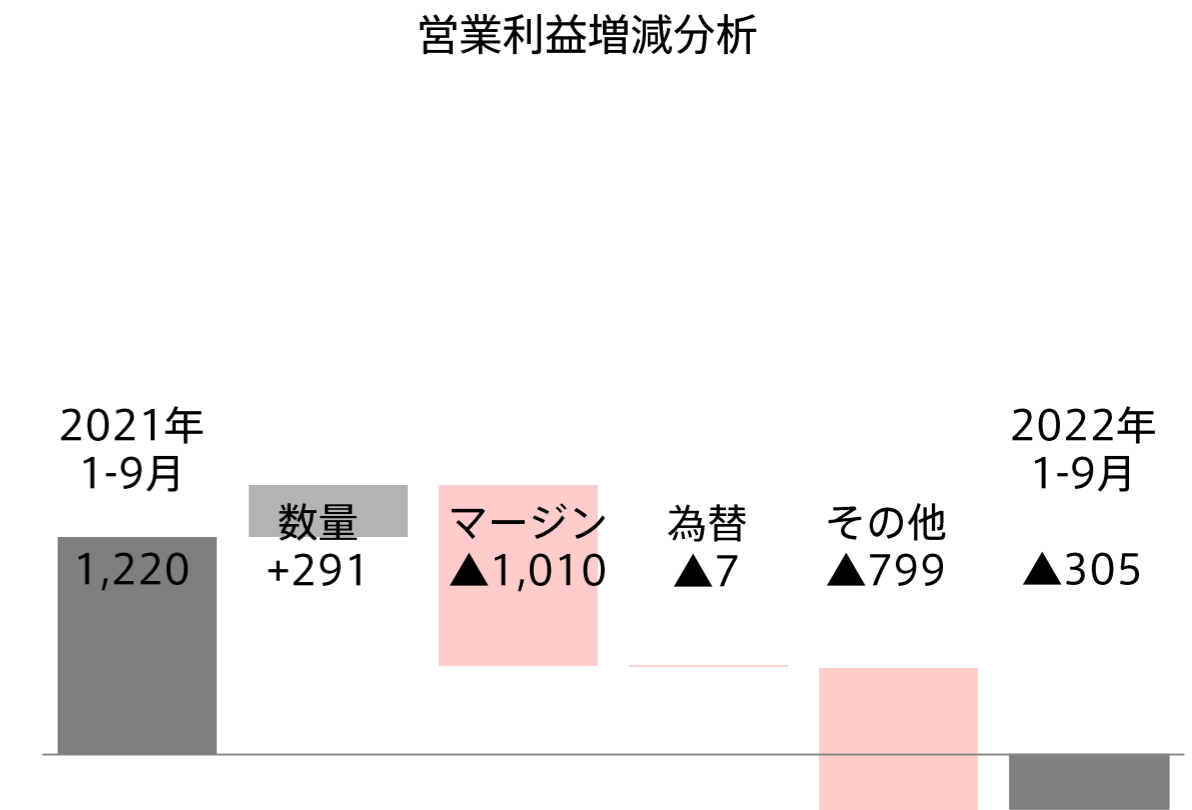
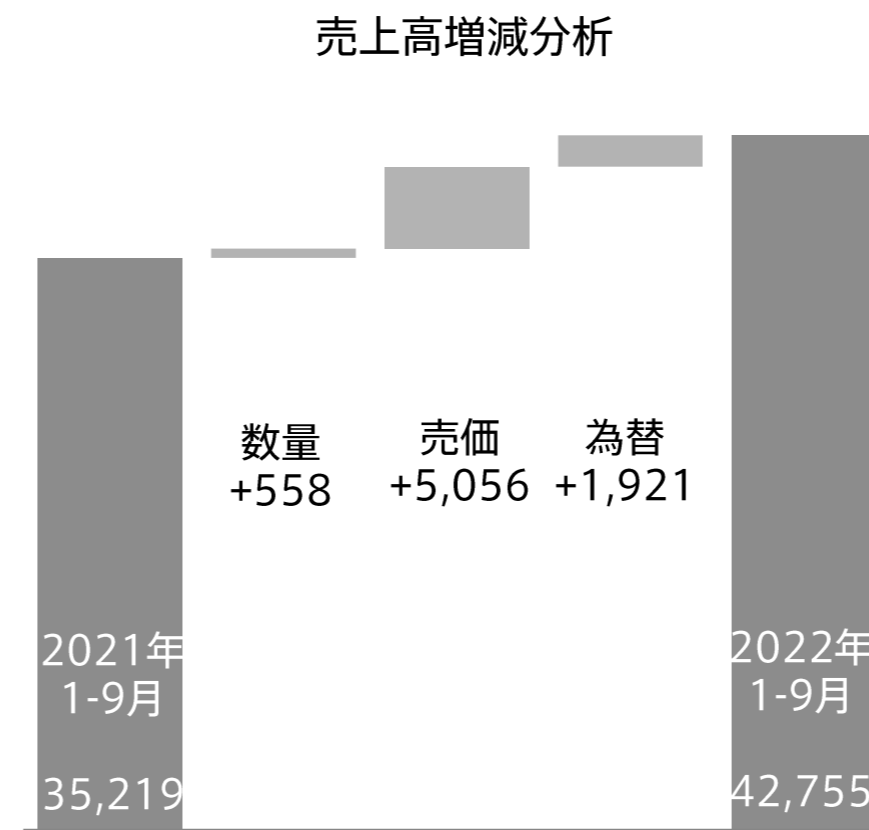
- 半導体製造のエッチング工程で使用されるソリッドSiC（シリコンカーバイド）製フォーカスリングが全体の成長をけん引。またSiC半導体の急成長を受け関連製品の需要が拡大。一般産業向け出荷も堅調に推移
- 中長期的な市場の拡大に向け成長投資を加速



- ウクライナ危機により高炉ブロックの出荷が影響受けるも、カソード及び炭素電極需要は堅調に推移
- 原料価格の急騰、インフレによる労務費の上昇は、売価引き上げと生産効率改善で吸収し、のれん等償却費を除いた営業利益75.5億円 (ROS17.7%)
- 売上高の季節変動性 (第4四半期に出荷が集中) から、足元セグメント利益▲3億円なるも、通年ではガイダンスを上回る黒字見込み

(百万円)

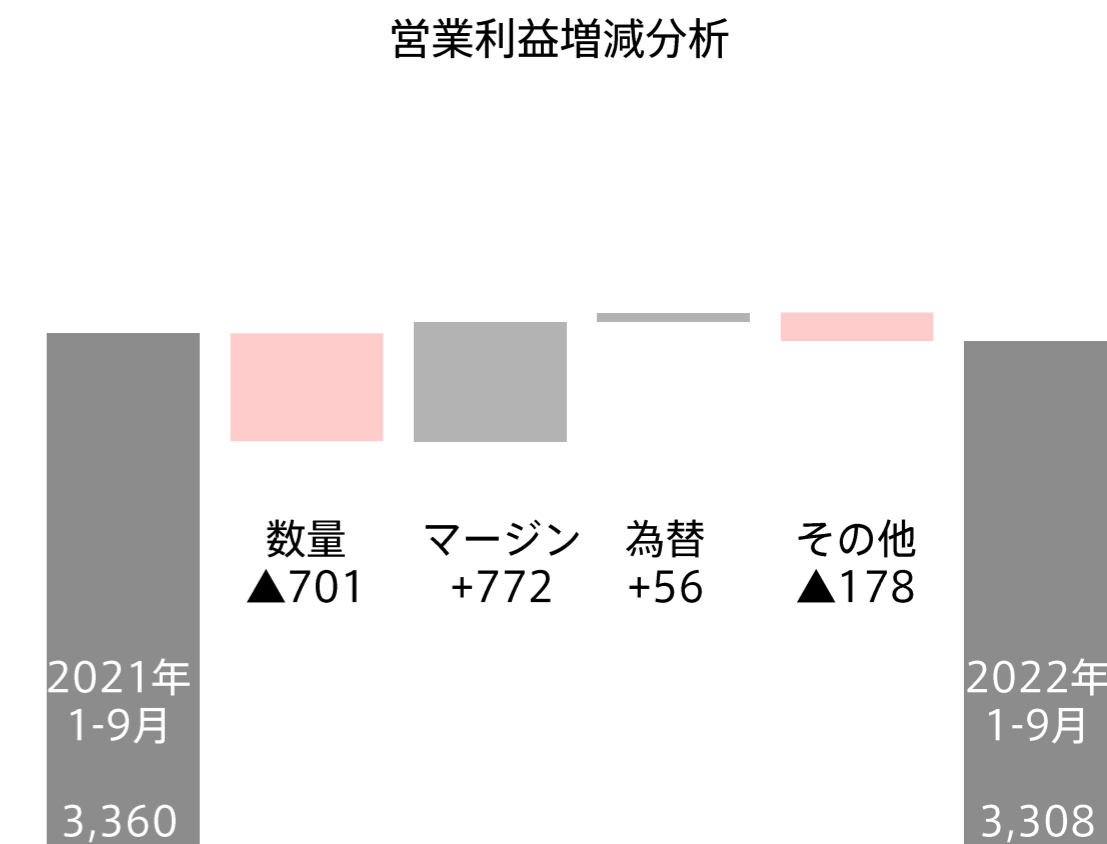
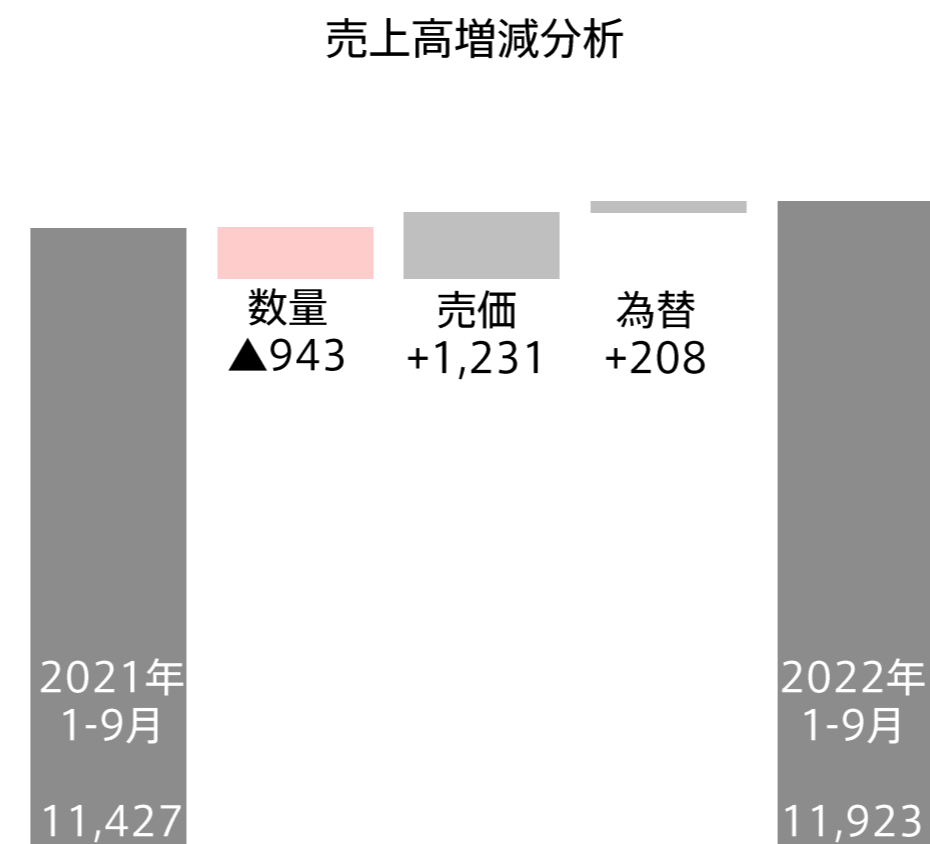
	2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減額	増減率
売上高	35,219	42,755	+7,535	+21.4%
営業利益	1,220	▲305	▲1,525	-%
ROS	3.5%	▲0.7%		



- 中国ロックダウンに伴う中国拠点の生産・出荷が一部影響受けるも、工業炉と発熱体共に堅調
- 電子部品業界向け、エネルギー関連業界向けの需要自体は引き続き堅調であり、積層セラミックコンデンサ（MLCC）、リチウムイオン電池（LiB）電極材の中長期的な市場の拡大を睨み成長投資を継続

(百万円)

	2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減額	増減率
売上高	11,427	11,923	+496	+4.3%
営業利益	3,360	3,308	▲51	▲1.5%
ROS	29.4%	27.7%		



主なキャッシュフロー項目

(百万円)

	2021年1-9月	2022年1-9月	概要
営業活動によるキャッシュフロー	23,499	19,921	
税金等調整前四半期純利益	17,700	31,330	
減価償却費	16,727	19,385	
のれん償却額	5,216	5,561	
売上債権増減	▲9,023	▲7,384	} 運転資本 ▲287億83百万円 (前年同期 ▲101億60百万円)
棚卸資産増減	▲5,794	▲19,560	
仕入債務増減	4,657	▲1,839	
法人税等の支払額その他	▲5,984	▲7,572	
投資活動によるキャッシュフロー	▲26,978	▲29,302	・フリーキャッシュフロー▲93億80百万円 (前年同期 ▲34億79百万円)
有形固定資産取得	▲23,119	▲26,577	
財務活動によるキャッシュフロー	3,679	▲14,435	
借入金増減(CP含む)	1,616	8,813	
社債発行	10,000	▲10,000	・第1回無担保社債100億円償還 (3年債、利率0.12%)
子会社株式取得	0	▲5,024	・連結子会社 (TCK) 株式追加取得 (議決権所有割合44.4%⇒47.4%)
配当金の支払	▲6,395	▲6,395	
現金及び現金同等物期末残高	59,656	45,862	

※運転資本=売上債権+棚卸資産-仕入債務

主な貸借対照表項目

(百万円)

	2021年12月末	2022年9月末	概要
資産合計	512,503	562,933	
流動資産	215,149	240,187	
現預金	78,858	63,706	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金月商比率 2.3倍 (前期末3.7倍) ・棚卸資産 前期末比+262億40百万円 ・有形固定資産 前期末比+280億46百万円 ・無形固定資産 前期末比▲2億46百万円
受取手形・売掛金	56,668	68,558	
棚卸資産	72,479	98,719	
固定資産	297,353	322,745	
有形固定資産	144,165	172,211	
無形固定資産	123,349	123,103	
投資その他の資産	29,838	27,430	
負債合計	255,932	264,457	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット有利子負債 1,035億50百万円 (前期末比+141億円) ・有利子負債 1,672億57百万円 (前期末比▲9億93百万円) ・直接調達比率 68.8%(前期末68.4%)、長期比率 54.5%(前期末55.6%) ・短期融資枠660億円 (前期末比+40億円) : 借入実行額60億円 (前期比末+40億円) ・債権流動化・CP発行限度枠780億円 (前期末比+100億円) : 借入実行600億円 (前期末比+100億円)
流動負債	130,418	134,620	
固定負債	125,514	129,837	
純資産合計	256,570	298,475	<ul style="list-style-type: none"> ・自己資本比率47.7%(前期末44.7%) ・調整後自己資本比率※ 53.9%(前期末51.6%) ・ネットD/Eレシオ 0.4倍 (前期末0.4倍) ・調整後ネットD/Eレシオ 0.2倍 (前期末0.2倍)
株主資本	206,269	212,465	
その他包括利益累計額	22,940	56,175	
非支配株主持分	27,360	29,835	
負債純資産合計	512,503	562,933	

※調整後自己資本比率、調整後ネットD/Eレシオとは、ハイブリッドファイナンスでの格付機関からの資本性認定を考慮した自己資本比率、ネットD/Eレシオです

II

ローリング中期経営計画(2022-2024)

T-2024進捗ご報告

2022年2月公表の中計T-2024は計画通り進捗

T-2024基本方針

①主力事業の成長軌道回帰

- 黒鉛電極、カーボンブラックの採算改善と安定化
- 設備投資コストの売価への転嫁

- ✓ 黒鉛電極の国際市況反転、値上げ推進
- ✓ カーボンブラックは、環境投資、原料油コストの売価への転嫁実施。米国拠点は2023年1月より安定稼働の見通し



②事業ポートフォリオの最適化 (選択と集中)

- 事業構成と製品構成の継続的見直し
- 高付加価値商品の生産能力増強
- 将来性のある事業・開発品への集中投資

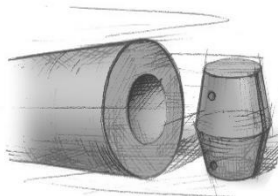
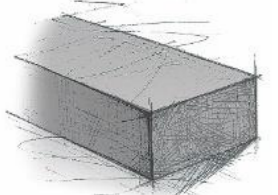
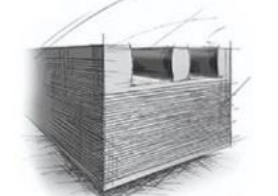
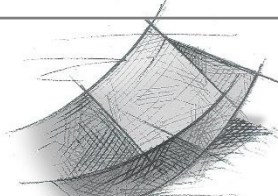
- ✓ 中国のカーボンブラック子会社売却
- ✓ Tokai Carbon Koreaの株式追加取得
- ✓ ファインカーボンSiC半導体向け製品需要拡大に沿い、中国、韓国、日本の各拠点で設備増強

③連結ガバナンス体制強化

- カーボンニュートラル推進
- 本社組織のグローバル化対応
- 内外子会社のガバナンス体制強化

- ✓ サステナビリティ推進委員会始動（長期ビジョン、行動指針、グローバル行動規範リニューアル）
- ✓ カーボンニュートラル全社推進中（CO2総排出量の第三者認証取得、取引先との連携加速、開示拡充）

各セグメントの中期的成長見通しは変わらず

事業	ロシアのウクライナ侵攻の影響	今後の見通し
 <p>黒鉛電極</p>	<p>原材料上昇、エネルギーコスト上昇 欧州鉄鋼景気減速</p>	<p>鉄鋼景気の短期的見通しに不透明感増す。一方で、米国を中心に電気炉新設プロジェクトは着実に進められており、中期的な高品質市場の拡大見通しは変わらず</p>
 <p>カーボンブラック</p>	<p>ロシア・ウクライナ向けの販売なし 原油上昇は価格フォーミュラ制で対応</p>	<p>2022年内は米国工場の環境投資対応により販売量の制約あり。2023年以降は売価、数量両面での上昇見込み</p>
 <p>ファインカーボン</p>	<p>ロシア・ウクライナ向けの販売なし 原材料、エネルギーコスト増は販売価格へ転嫁</p>	<p>半導体・PV市場は成長継続。一般産業向けの黒鉛需要も回復。SiC製品の引き合いは想定以上に強く、引き続き生産能力増強に取り組む</p>
 <p>スメルティング＆ライニング</p>	<p>ロシア向け製品輸出、原材料調達に影響。原材料、エネルギーコストも上昇。カソードと炭素電極の堅調な需要を背景に、コスト上昇分の価格転嫁を実施</p>	<p>原材料、エネルギーコスト上昇を見据えた売価設定に注力。カソード、炭素電極需要は引き続き堅調の見通し</p>
 <p>負極材</p>	<p>影響なし（地産地消の生産体制への移行加速）</p>	<p>フランス拠点への技術移管 助成金等を受け計画進捗</p>

ROIC 10%達成に向けた中期的施策 (T-2024)

高成長・高ROIC事業の拡大に向け投資計画実行

ROIC 2021年:4.8% 2022年1-9月累計: 6.5% 2024年計画:10%超

ROIC (2022年累計=6.5%)	取り組みの方向性	戦略・施策
工業炉 30%	成長投資 継続投資	<ul style="list-style-type: none"> ● 工業炉・発熱体生産能力拡張 (年率10%成長目指す) ● FC生産能力増強 (2022年Q4より15%増、2024年内に16%増) ● FC (中国) : 加工機、純化能力の増設(2024年内寄与) ● FC (韓国) : SiC生産能力増強投資継続。2026年には新工場設立でさらなる拡張 ● CB設備更新・環境設備投資。タイの新工場建設 (移転) ● 黒鉛電極売価引き上げ ● 需要が拡大するスーパーサイズ (大口径) 電極の生産効率化
FC 16%		
CB 7%		
電極 7%	収益改善	
WACC 5%ライン		
SL 0%*	収益改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 原料、エネルギー、労務コスト上昇分の売価への転嫁 (値上げ) 。得率改善、固定費低減

FC=ファインカーボン CB=カーボンブラック SL=スメルティング&ライニング

*SL: のれん等償却費除きROICは5.6%

參考資料

(百万円)

子会社	2021年 1-9月	2022年 1-9月	増減額	所在地・事業	備考
Tokai Erftcarbon	8,045	13,662	+5,617	ドイツ 黒鉛電極	
Tokai Carbon GE	13,416	22,645	+9,229	アメリカ 黒鉛電極	・2017年11月より連結寄与
Thai Tokai Carbon Product	12,951	20,978	+8,027	タイ カーボンブラック	
Tokai Carbon CB	31,189	49,773	+18,583	アメリカ カーボンブラック	・2018年9月より連結寄与
Cancarb	6,628	7,124	+495	カナダ カーボンブラック	
Tokai Carbon Korea	19,006	24,732	+5,726	韓国 ファインカーボン	・2018年6月より連結寄与
Tokai COBEX	27,038	42,820	+15,781	ドイツ SL	・2019年8月より連結寄与

(百万円)	2018	2019	2020	2021	2022 (予想)
売上高	231,302	262,028	201,542	258,874	305,000
営業利益	73,065	54,344	7,858	24,647	35,000
ROS (%)	31.6%	20.7%	3.9%	9.5%	11.5%
EBITDA	85,374	77,053	35,262	54,518	66,000
EBITDA マージン (%)	36.9%	29.4%	17.5%	21.1%	21.6%
親会社株主に帰属する純利益	73,393	31,994	1,019	16,105	20,000
ROE (%)	46.8%	16.0%	0.5%	7.5%	8.4%
ROIC (%)	29.6%	13.1%	1.6%	4.8%	6.5%
設備投資額	11,794	24,341	28,873	30,347	38,000
減価償却費	10,390	18,503	20,890	22,900	24,000
研究開発費	1,883	2,460	2,682	2,823	3,000
有利子負債	49,710	148,030	158,643	168,249	-
ネットD/Eレシオ	0.0	0.5	0.5	0.4	-
調整後ネットD/Eレシオ	0.0	0.3	0.2	0.2	-
従業員数 (人)	2,944	3,714	4,178	4,289	-
為替レート (JPY/USD)	110.43	109.05	106.82	109.80	110

※ EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却費,

※ ROIC = 税引き後営業利益 ÷ 投下資本 (運転資本+固定資産)

セグメント別業績推移 (四半期ベース)

21

(百万円)

	2021					2022				
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4f (*)	通期
売上高	53,968	63,412	67,714	73,779	258,874	69,512	87,558	89,261	58,669	305,000
黒鉛電極	7,957	10,028	10,412	12,220	40,619	12,362	16,802	14,502	21,334	65,000
カーボンブラック	21,595	24,669	25,997	27,228	99,491	29,430	34,298	39,621	10,651	114,000
ファインカーボン	8,826	9,851	9,873	10,574	39,125	10,935	12,760	13,127	4,178	41,000
スメルティング& ライニング (SL)	10,766	11,126	13,326	14,477	49,696	11,605	15,001	16,148	10,246	53,000
工業炉関連	1,982	4,556	4,888	6,592	18,019	2,523	6,381	3,018	8,078	20,000
その他										
摩擦材	2,134	2,269	2,186	2,289	8,880	2,290	2,202	2,341	2,167	9,000
負極材	670	876	997	362	2,907	330	78	465	2,127	3,000
その他	34	33	33	33	135	34	33	34	▲101	0
その他計	2,839	3,180	3,217	2,686	11,922	2,655	2,315	2,842	4,193	12,000
営業利益	4,077	6,868	6,724	6,977	24,647	7,938	8,778	11,297	6,987	35,000
黒鉛電極	▲223	346	▲311	▲211	▲400	1,258	1,666	2,378	3,698	9,000
カーボンブラック	1,807	2,546	2,331	2,098	8,783	3,049	1,735	4,201	2,015	11,000
ファインカーボン	2,146	2,411	2,458	2,594	9,611	2,912	3,874	4,312	▲1,098	10,000
スメルティング& ライニング (SL)	42	259	917	705	1,925	67	▲71	▲301	305	0
工業炉関連	521	1,431	1,406	2,036	5,396	763	1,754	790	2,693	6,000
その他	138	210	255	151	754	201	186	312	301	1,000
調整	▲355	▲337	▲334	▲396	▲1,423	▲314	▲367	▲395	▲924	▲2,000

(*) 2022Q4f: 2022年Q4 数値は2022年12月期の通期予想からQ3までの実績を控除して表示しております

- 本資料に掲載されている将来見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の仮定を前提としています。
- 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先
総務部 TC-IR@tokaicarbon.co.jp



Building a Future of Technology and Trust
TOKAI CARBON CO., LTD.